

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。



## 野球ではなく、ベースボールだったから



今年のスポーツ界の出来事で印象深かったことは東京五輪開催を押しつけて大谷翔平選手の1年だったように思います。メジャーリーグ機構は今季のアメリカン・リーグMVP(最優秀選手)にエンゼルス・大谷翔平選手(27)が満票で選出されたと発表しました。日本人選手のMVP受賞は、2001年のイチローさん(当時マリナーズ)以来2人目の快挙となります。

今年のオールスター戦で彼は1番・指名打者兼先発投手として出場しました。選出されるだけで栄誉なことなのに、打者としても、投手としても超一流スタープレイヤー級の扱いです。

シーズンが終わってみれば本塁打王と2本差の46本塁打を記録しました。もしこれが日本球界だったら、まず投手がまともな勝負をしてくれないでしょう。日本の投手は時に死球すれすれの球を投げ込み、「腰を引かせる」とかバカなことを得意げに評価する悪習がまかり通ります。それが「野球」だからです。日本の投手なら大谷選手にはストライクゾーンに投げ込んでこないでしょう。

46本の被本塁打を食らったメジャーの投手達を見ていると、力勝負でストライクを投げ込んできます。死球を与えれば、仲間に報復があるから日本のように球威やコントロール以外のやりくりで飯を食う選手がいないのです。それが「ベースボール」であって大谷翔平が輝いたフィールドであったことは間違いないでしょう。



本年も1年間に渡り、「マケテタマルカ」をご精読いただきありがとうございます。別紙の通り、各支店で入社試験を現在でも随時実施しております。お問い合わせをお待ち申し上げます。

松本 隆一郎